

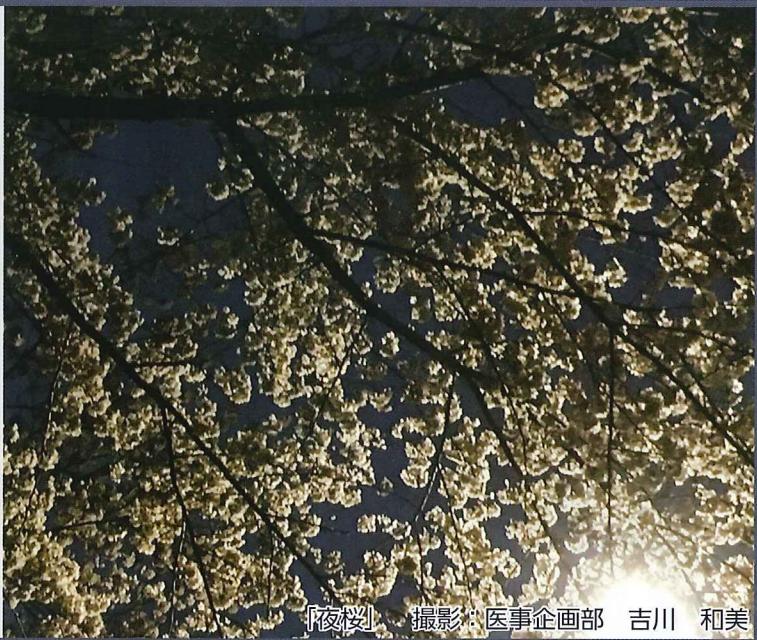
ふれあい

2017

4

No.361

牛久愛和総合病院 広報誌



「新年度のご挨拶」

常仁会グループ理事長

たねだよしろう
種子田吉郎



春光うららかな季節を迎え、
新年度がスタートしました。

先日は、大相撲初場所で悲願

の初優勝を決めた稀勢の里関の第

72代横綱昇進の嬉しいニュースが

舞い込み、横綱の出身地である牛

久市ではお祝いムードに包まれ、

多くの皆様が元気と勇気を頂きま

した。一方、昨年度の世界ではイ

ギリスのEU離脱やアメリカのト

ランプ新大統領の選出、国内では

東京初の女性知事誕生など、政治・

経済の変化を求める動きが多くみ

られました。

社会全体が大きな変化を求め

られている今、これから原動

力となる新入職員73名、常仁会

グループ全体では169名がこの春に入職しました。若い力を

のびのびと發揮し、常仁会グル

ープの成長へ大きな力になるこ

とを期待しています。

現在、常仁会グループは医療

法人社団常仁会グループと社会

福祉法人マリア会グループで構

成され、「牛久愛和総合病院」を中核施設として、牛久市、新潟市、

高知市、北九州市、宮崎市において15施設（病院7、介護老人保健施設5、有床診療所1、介護老人福祉施設（特養）2、医療介護トータルベッド数2、510床）を運営しております。

グループの中でも中心的存在

である牛久愛和総合病院は、昨年3月には病院敷地内に職員宿舎『U-residences』（3階建（18戸）×4棟）を整備、24時間保育の院内保育施設『マリア・ナーサリー』と併せて、女性が働きやすい職場づくりを推進いたしました。余談になりますが

『U-residences』の1棟には稀勢の里関に因んで『KISE』と命名させて頂いております。

今年度の医療界は、団塊世代

がすべて後期高齢者となる所謂

「2025年問題」を踏まえた

2018年の診療報酬・介護報酬の同時改定に向け、更なる大きな変化が求められる年になつてまいります。

また2018年には同時改定と併せて第7次医療計画及び第

7期介護保険事業（支援）計画

がスタートします。経済産業省による「将来の地域医療における保険者と企業のあり方研究」

の報告書によると、茨城県は医療提供体制の類型化では、「分散

型」（200床以上の病院の数が県内に60施設未満かつその集中度が50%未満）、牛久市が属する「取手・竜ヶ崎」医療圏は、第二次医療圏ごとの医療需要に基づく類型化では、「運行型」（2040年までに入院医療需要が伸び続ける地域）に類型化されており、2018年以降も医療ニーズが増す地域と報告されております。国の施策に注目しながら我々が求められている『効率的かつ質の高い医療提供体制の構築』、『地域包括ケアシステムの構築』に貢献できるよう牛久愛和総合病院、介護老人保健施設春秋園、特別養護老人ホームグランヴィラ牛久は、地域の医療機関等と連携し急性期医療から在宅医療・介護サービスをシームレスに提供できるよう取り組んでまいります。

今後も社会のニーズに応じた医療・介護、地域の課題に対し、常仁会グループが一体となり、地域の皆様方が安心し満足していただける医療の提供を目指し努力してまいります。皆様にとつての未来が明るく希望に満ちた輝かしいものとなることを心から祈念し、新年度の挨拶と致します。

認定看護師のお話

がん化学療法看護認定看護師の仕事とは

がん化学療法看護認定看護師 主任 飯田 寛美

現代において「がん」は、2人に1人がかかる身近な病気です。その理由として、がんは体のどこにでもできる可能性があり、部位によって好発年齢はあります、いつでも発症する可能性があるということです。

がん治療は、手術療法・化学療法・放射線療法を3本柱としています。これらを組み合わせて行っていくことが多いのです。が、そのうちの化学療法（いわゆる、抗がん剤）は、ほとんどの方にかかわってくる治療法です。

その昔、抗がん剤と言えば、

吐き気で洗面器が手放せず苦しむなど副作用が強いというイメージですが、医療の進歩は目覚ましく、副作用を軽くしてくれる薬が開発され、なにより治療効果の高い薬が次々に登場しています。そのため、以前よりも治癒を目指せるがんが増えたり、がんの進行を長期間遅らせることが可能になってきています。



第26回茨城がん学会（平成29年2月19日開催）での一般演題発表にて優秀賞を受賞しました。



D M カフエ

糖尿病・代謝内科 宜保 英彦

寒さも和らぎ、春の訪れを実感する今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。

中の方や低血糖を生じうる薬を服用中の方は、運動に伴う低血糖に対する備えが必要となります。

冬の間、運動をお休みされたり、その副作用のコントロールをしてこそ、治療を行なながら日々の生活を送ることができます。

その場面こそ私たち看護師の出番です。身近な存在として頼つていただきたいと思います。いつもご相談ください。

そしてがんになると、人それぞれ悩みを抱え、孤独にもなります。誰にも話せず一人で苦しむないでください。私たち看護師に話すことでも少しでも心が和らいで、解決の糸口を見つけていきます。

ただし、心臓の病気や進行した糖尿病合併症を有する方は、たとえ積極的な運動を控えていたとしてもあります。また、運動する習慣をつけることで、ストレス解消、肥満の予防や是正にもつながります。

〈糖尿病教室のご案内〉

5月10日(水) 糖尿病について（岩崎医師）

5月17日(水) 運動療法について

5月24日(水) 糖尿病と薬

◆ 時間…14時30分～
◆ 場所…C館1階からだ情報館
(事前予約不要、参加費無料)

日 時 平成29年5月25日(木)
14時30分から約1時間
会 場 牛久愛和総合病院
B館2階 大ホール
講 師 特任副院長兼内科部長
千葉 俊也 医師

テーマ
「本当はコワイ脂肪肝」
脂 肪 肝

『第63回 生活習慣病教室』

入職者

3月1日付

■ 春秋園

介護福祉士初任者研修
通所リハビリ

橋内 郁美
1つ1つの事を確実に覚え

趣味はドライブで、嫌いな食べ物は肉の脂身です。

社会福祉士 秋葉 康弘
ケアサービス部



※右・入国者收容所東日本入国管理センター長 山田道寛様
左・亀岡病院長

入国者收容所東日本
入国管理センター様より
感謝状を頂きました

平成29年3月24日(金)に入国
者收容所東日本入国管理セン
ター様より感謝状を頂きました。

春秋園だより



部署紹介

画像診断センター

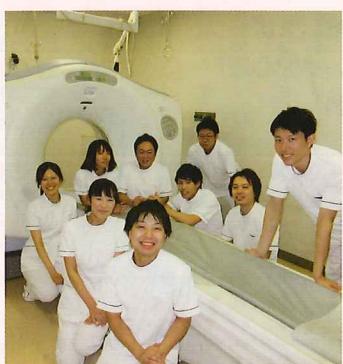
副科長 佐野 明宏

画像診断センターでは、X線を用いて肺や骨などの身体のあらゆる部位の撮影をする一般撮影、脳・心臓・腹部などの血管系の診断及び治療を行う血管造影、脳梗塞・脊髄損傷などの初期診断に欠かせないCT検査、強力な磁石を用いて全身の精密診断を行うMRI検査、予防医学を推進する健診業務など、多岐に渡る分野の業務を実施しています。

現在の医療においては、病用は不可欠なものとなつていて気の診断・治療などに必要な情報を得る目的で放射線の使

ます。患者さんの中には「放射線」という言葉だけで、恐いイメージを持つ方もいると思ひます。確かに放射線は原爆や事故による死亡などのよ

うに恐い面もありますが、恐いか否かは被曝する量で決まり、少ない被曝量ではありません。自然曝量を判断する一つに、自然



放射線による被曝があります。自然放射線には、大地や空気中、食物として体内に取り込まれた物質、宇宙線と呼ばれる宇宙からくるものなどがあります。私たちはこの自然放射線に日常被曝していますが、通常、この被曝について考えることや不安があることなく生活しており、その被曝量は世界平均で1年間に約2.4mSv(ミリシーベルト)であるとされます。一方、放射線診療における代表的な検査での被曝量は、胸部0.03mSv、頭部CT 1.5mSv、上部消化管 3.0mSv、胸部CT 6.0mSv程度になります。

被曝量から分かるように患者さんに診断目的で放射線を使用する場合には、通常に施行されている検査では心配するほどの被曝ではありません。そこで、医師により放射線検査を受けるよう言われた際は、あまり心配されずに検査を行って下さい。放射線診療はあくまで患者さんの病気の診断・治療が目的であり、患者さんの利益が被曝のリスクよりも大きいという医師の判断の上で検査を実施しています。

放射線による被曝に限らず、検査の内容などについて分からぬことや不安なことがございましたら、画像診断センターまでお気軽に尋ね下さい。

だんだんと
日差しが温か
くなり、春ら
しくなってき
ました。皆さ
ん、いかがお
過ごしでしょ
うか。
さて、今回は入所三階・四階合
同で行つたひな祭り会をご紹介し
ます。

ひな祭り会では、利用者様とスタッフの女性陣が集まり、メイクと、好きな色と花柄を取り入れたマニキュアを塗つて指先までおしゃれを楽しみました。「マニキュアは久しぶりにやつた」という方もいれば、「生まれて初めてやつた」と笑顔で話されている方もいました。そして、七段飾りのひな壇を見ながら、甘酒や桜餅などを召し上りました。また、ひなまつり終了後には、「楽しかったよ」「爪もきれいにしてもらつて。良かった」など、利用者様からお言葉も頂きました。

今後も、利用者様の素敵な笑顔が引き出せるよう、利用者様からの要望も聞きながら、いろいろなイベントを企画できたらと思いま

貴院は平成二十八年十一月に急性虫垂炎と診断されパンチラデショウ男性の手術・十二月に急性心筋梗塞と診断されたスリランカ人男性の緊急手術及び入院治療。本年一月に他の人々に係る救急対応及び維持治療などを受けた。平成二十九年三月二十四日 入院者収容所東日本入国管理センター所長 北村晃彦

卒園式
3月12日(日)、マリア・ナーサリ
3/12

前・後期ともに、実践に即した参加型の研修会であり、現場でも大いに活用できるものではないかと考えます。今後も多職種間が共通した認識を持つことで医療安全に努めていきたいと思います。
(医療安全推進室長・古木)

【当院における医療事故の現状】
医療安全推進室 古木 和哉
後期(2月実施)
「K.Y.Tによる医療安全」
株式会社大塚製薬工場
入江美穂子氏

【当院の医療安全について】
リハビリセンター 大澤 晴弘科長
佐野 明宏副科長
【当院の医療安全について】
リハビリ編

【当院の医療安全について】
画像診断センター 放射線科編
【当院の医療安全について】
リハビリセンターリハビリ編

【当院の医療安全について】
前期(6月実施)
前前期(6月実施)
【当院の医療安全について】
リハビリセンターリハビリ編

平成28年度医療安全講習会

医療安全推進室では、医療安全対策加算1の施設基準である、医療安全対策に係る体制を確保するための職員研修を本年度も前・後期で企画・実施しました。

一卒園式を行ないました。第一部の式典では、すこし緊張していた子ども達でしたが、名前を呼ばれるとき大きな声で返事をし、堂々と卒園証書を受け取りました。



編集だより

暖かくなったので自転車で遠出をしてみました。この時期は目的地に着くまでに色々な景色が楽しめます。たまには自転車に乗って普段とは違う景色を楽しんではいかがでしょうか? (K・Y)

(宮二)

子ども達の瞳はキラキラと輝いていました。本当に大きく、立派に成長してくれた事をあらためて感じました。その後リズム、詩、歌をうたい、最後はお母さんにメダルのプレゼントを渡しました。保育士の作ったアーチをくぐり、花吹雪の中全員が元気いっぱい巢立つっていました。

診療科目

【一般外来】

総合診療科(内科)、消化器内科、糖尿病・代謝内科、循環器科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、小児科、総合外科、救急科、甲状腺・内分泌外科、乳腺科、消化器外科、内視鏡科、形成外科、整形外科、産婦人科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、歯科口腔外科、透析外来(シャント外来)、禁煙外来

【専門外来】

整形外科(股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節)
小児科(小児循環器、小児心理)
循環器科(心臓血管外科)
皮膚科(レーザー)
外科(そけいヘルニア)
形成外科(下肢静脈瘤)

病院理念 我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床(一般391床 医療療養型55床 地域包括ケア43床)

施設

敷地 59,449.60m² 駐車場 1151台



日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター	Tel 029-873-4334
健康増進施設 スポーツリラックス	Tel 029-874-8791
介護老人保健施設 春秋園	Tel 029-870-3100

